

将来ビジョンの実現に向け令和5年度までに集中展開すべき

5つの重点戦略

将来ビジョンを実現するため、令和5年度までに集中展開すべき5つの重点戦略と各戦略に基づく施策の展開方向と目標数値について定め、総合的かつ計画的な推進を図ります。

【戦略1】 スマート&コラボで農林水産業の夢と未来を創る



- 中山間地域が多い等の本府の特性を踏まえたカスタマイズで「スマート農林水産業」を実現
- 産地と実需者との情報共有、小規模経営者への伴走支援で農商工連携を面的に拡大

【戦略2】 「林業の再生」と「防災・減災」の両輪で健全な森林を目指す



- 新たな森林管理システム等を契機とした総合対策で持続的な林業経営、木材供給の拡大を実現
- 奥地等の森林保全や風倒木対応、府民への情報発信等で、山地災害対策を強化

【戦略3】 「京らしさ」を生かしたバリューチェーンで国内外への展開を加速する

- 消費者ニーズに即した差別化戦略や京の食文化のフル活用で新たな需要を開拓
- 機能性やおいしさなど「高品質」の見える化で信頼の基盤を構築



【戦略4】 人づくりの裾野を広げ多様な人材が育む産業・地域を実現する

- 法人のインキュベーションや働き方改革、企業参入、集落営農の強化等で担い手を確保
- 移住者や副業・兼業者等の外部人材と地域を橋渡しすることで“半農半X”等を拡大



【戦略5】 地域住民に寄り添い、強みを磨いて農山漁村(ふるさと)の絆を守る

- 多様な形で継続的に地域と関わる人々の創出と、仕事・住居等の一体的支援で移住を促進
- 地域資源を生かしたなりわいづくりや観光等で持続的な農山漁村コミュニティを形成



ホームページでは各戦略で行う施策の展開方向を紹介しています

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町
京都府農林水産部 農政課

TEL : 075-414-4898 FAX : 075-432-6866

E-mail : nosei@pref.kyoto.lg.jp

URL : <http://www.pref.kyoto.jp/nosei/r01vision.html>

詳しい内容は
ホームページに
掲載しています



京都府 農林水産ビジョン ~概要版~

希望と活力に満ちた
農林水産業と農山漁村暮らしの共創



京都府農林水産ビジョンとは

1 農林水産ビジョン

概ね20年後(2040年)に農林水産業・農山漁村が実現したい姿です

2 重点戦略

農林水産ビジョンを実現するために令和5年度までに集中展開すべき施策の展開方向です

京都の農林水産ビジョン

～ 希望と活力に満ちた農林水産業と農山漁村暮らしの共創～

京都ならではの多様で特色ある農林水産業・農山漁村を次の時代に確実に引き渡すため、今後の農林水産行政を計画的かつ総合的に進めて参ります

コミュニティ(農山漁村)

- 観光や農山漁村体験などにより地域のファンが増え京都の農山漁村に関わる人が大幅に増加しています
- 京都ならではの都市と田舎の近さを生かし二地域居住や兼業・副業など新しいライフスタイルの場になっています



農山漁村体験などで関係人口が増加

農産物直売所、6次産業化農家レストランなどで収益が向上

都市から農村への周遊

多言語表示で安心して食を選択

農山漁村への移住者が増加

UI・Jターン・移住者向け住居が充実

二地域居住・週末農家が増加

セキュリティ(安心・安全)

- 農山漁村、森林の防災・減災対策が進み気象災害等による被害が最少限になっています
- 品質管理、多言語表示などが進み府内全ての人が常に安全な食を選択できます

サテライトオフィスなど空家の活用が増加



資源管理により漁業が持続

養殖生産が拡大

木材生産が拡大
森林の多面的機能が発揮



地域資源の観光活用によるビジネスが展開

ビジネス(農林水産業)

- 中山間地の多い京都に合わせたスマート技術の実装が進み農林水産業の収益力が向上しています
- 京都の農林水産物が国内外から愛されています
- 農林水産業の担い手が育ち、各地で活躍しています



草刈りロボット

スマート技術の実装で軽労化・高収益化

自動運転農機

府内産農林水産物の利用が拡大

畜産が継承・持続

アシストスーツ

家畜防疫が強化

野生鳥獣による被害が低減

山地災害対策が進展

治山ダム

ため池など農山漁村の基盤整備・防災対策が進展

ビジョンの推進体制

窓口機能

農林水産業・農山漁村に関する相談が気軽にでき、これらに関わりたくなるような窓口として各地域で活動します

個々に応じた伴走機能

相談を受けた課題の解決や交流で生まれたアイデアの実現を「応援隊」等が現場で伴走支援し、業種を越えたビジネス興しを行います

オープンラボ(研究・交流)機能

産学公の緊密な連携により農林水産業・農山漁村の課題と解決方法を研究するとともに、府民の参画につながる交流の場を作ります

メディア機能

魅力ある京都の農林水産業や農山漁村での暮らしなどを広くPRして、京都に興味のある方々を大きく巻き込む活動を行います